

# 付属小の紹介映像

## 6年生制作

秋田市の秋田大学付属小学校の6年生15人が、同校の歴史や魅力を紹介する映像の制作に取り組んでいる。9月18日には同校の卒業生で集英社ジャンプ・コミック出版編集部副編集長の服部ジャンパティスト哲さん(44)を招き、インタビュー映像を撮影した。



### 卒業生の取材に挑戦

服部さんは過去に人気漫画「ONE PIECE」や「ハイキュー!!」の編集担当を務め、11月には同校で漫画編集の仕事について講演する。今回の映像制作にも協力しており、児童とともに学校を巡りながらインタビューに答えた。

児童らは服部さんにカメラとマイクを向け、小学生時代の思い出や漫画編集の仕事について尋ねた。服部さんは「マラソン大会で1位になったのが一番の思い出。なご語り、児童らはメモを取ったり相づちを打ったりしながら真剣な表情で聞いていた。

インタビューした佐藤憲一郎さんは「カメラがあつて緊張したけど、会話の流れや声の大きさを意識して質問することができた」、撮影係の佐藤彩良さんは「本人の目線や表情が伝わるように撮影した。練習の成果が出た」とそれぞれ話した。

服部さんは「小学生の頃の記憶がよみがえった。子どもたちが良い作品を作ってくれたらうれしい」と語った。

翌19日には、映像制作会社アウトクロープのスタッフによるワークショップが同市の複合施設「アトレデルター」で行われた。児童らは前日に撮影したインタビュー映像の編集の仕方や今後の撮影の進め方を学んだ。

スタッフの田口雄大さん(25)から、撮影の基礎である構図やカメラワーク、光の使い方などを教わったほか、「脚本作り」「撮影」「編集」の3班に分かれてミーティングも実施した。

今後撮影するドラマバートの脚本についてスタッフに相談すると「ストーリーをシンプルなものにするのがやりやすい良い作品になる」とアドバイスを受けた。

脚本を担当する小島竜之介さんは「みんなが見ていて楽しい話を作れるように頑張りたい」と意気込んだ。

映像制作は同校創立150周年記念事業の一環で、6月から取り組んでいる。服部さんへのインタビューを使ったドキュメンタリーパートと、学校の歴史をたどるドラマバートで構成。11月に開かれる記念式典で公開する。

山瀬陽平



服部さん(左奥)にインタビューし、その様子を撮影する児童



アウトクロープの田口さんから映像制作について説明を受けた